



[リジェ御殿山サウスレジデンス](#)

城南五山の一つ、古くからお屋敷街として有名な「御殿山」に立地する分譲賃貸マンション。約1,100坪あるゆったりした敷地に30邸をご用意。広い敷地を贅沢に使用した高級低層マンションです。

重厚感ある低層で落ち着いたある外観フォルムは御殿山の街並みに融合しております。周辺は第一種低層住居専用地域で多数の木々に囲まれ深い緑に包まれた落ち着いたある住宅街の為、居住環境は大変良好です。ここに住むことによって静かな暮らしを楽しむことができます。

住戸の専有面積は101.84 ～242.46 、間取りプランは2LDK～4LDKとなっており、開放感のある広い住戸が多いのが特徴です。品川駅や大崎駅、北品川駅が利用可能で交通アクセス至便。オートロック、防犯カメラ、24時間セキュリティシステム完備で防犯設備充実、入居者の安全を守ります。 交通 山手線 「大崎駅」 徒歩11分 山手線 「品川駅」 徒歩17分 京急本線「北品川駅」 徒歩10分

所在地

品川区北品川4丁目8 14

構造

RC

階建て

3階建

築年数

2003年5月

敷地面積 3,552.75m²

分譲時会社 株式会社大京

施工会社 株式会社大林組

設備・条件

低層マンション 分譲タイプ 室内洗濯機置場 フローリング バルコニー

24時間換気システム エレベーター 照明器具付き ガスコンロ コンロ2口以上

食器洗い乾燥機 システムキッチン バス・トイレ別 追い焚き機能 浴室乾燥機

温水洗浄便座 洗面台 エアコン ガス暖房 床暖房 シューズインクローゼット

CSアンテナ BSアンテナ CATV 光ファイバー オートロック モニタ付インターホン

宅配ボックス 防犯カメラ セキュリティシステム ごみ出し24時間OK グリル オープン

オートバス ディンプルキー ダブルロック 駐車場 駐輪場 バイク置場

～御殿山の概要、歴史～

御殿山(ごてんやま)は、東京都品川区北品川にあり高輪台地の最南端に位置する。

歴史

眼下に江戸湊を見下ろす高台で、江戸時代初期から徳川家康が建立したと伝えられる品川御殿があったためそう呼ばれる。

歴代将軍鷹狩の休息所として、また幕府重臣を招いての茶会の場として利用されていたが、元禄15年（1702）2月11日四ッ谷太宗寺付近の出火で麻布御殿ともに焼失、8月14日に廃止された。

寛文（1661-73）の頃から桜が移植され、文政7年（1824）の宿差出明細帳写（品川町史）によると御殿山の面積は11500坪で600本に及ぶ桜の名所として整備された。

幕末期には、国防のための台場建設用土砂採取場となり、山の北側（現在の北品川3丁目3番、4番付近～北品川4丁目7番東側付近）がえぐられ窪地となった。

開国後の文久元年（1861）、幕府は英国をはじめ諸外国の公使館を御殿山に建設することを計画した。しかし、翌年12月12日、完成間近の英国公使館を高杉晋作・志道聞多（井上馨）・伊藤俊輔（伊藤博文）ら尊皇攘夷派13名が襲撃し全焼した（英国公使館焼き討ち事件）。明治期には、鉄道敷設のために東西に分断された。付近には益田孝など富裕者の屋敷が多くあった。

住所

御殿山は東京都品川区北品川の3丁目から4丁目付近とされる。

品川御殿は北品川3丁目5番付近とされる。

※出典 Wikipedia